

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市総合計画審議会(第4回)		
事務局(担当課)	総合政策部政策推進室政策課		
開催日時	平成24年7月30日(月) 午後6時30分から		
開催場所	川西市役所4階 庁議室		
出席者	委員	(別紙委員名簿のとおり) 神田委員、福田委員 欠席	
	その他		
	事務局	本荘総合政策部長、石田政策推進室長、飯田政策課長 片岸政策課長補佐、原政策課主任、稲治政策課主任 笠島政策課員	
傍聴の可否	可	傍聴者数	2人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	(別紙会議次第のとおり)		
会議結果	(別紙審議経過のとおり)		

川西市総合計画審議会委員名簿

平成 24 年 7 月 30 日現在

(敬称略、50 音順)

	委員氏名	役職等	選出基準	備考
1	上田 邦彦	川西市医師会副会長	市民団体等	
2	岡 英樹	市民	公募	
3	荻田 雅仁	川西市商工会理事	市民団体等	
4	小澤 良明	流域ネット猪名川幹事	市民団体等	
5	加藤 晃規	関西学院大学総合政策学部教授	学識経験者	副会長
6	神田 栄治	兵庫県立大学客員教授	学識経験者	欠席
7	金南 咲季	市民	公募	
8	斯波 康晴	市民	公募	
9	直田 春夫	NPO法人NPO政策研究所理事長	学識経験者	
10	田中 淑子	国際ソロプチミスト川西理事	市民団体等	
11	土山 希美枝	龍谷大学政策学部政策学科准教授	学識経験者	
12	中井 成郷	川西市PTA連合会長	市民団体等	
13	中上 直人	川西市社会福祉協議会地域福祉チーム	市民団体等	
14	中村 信行	川西市防犯協会会長	市民団体等	
15	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授	学識経験者	会長
16	福田 義久	川西市農業振興研究会長	市民団体等	欠席
17	藤村 聡	阪急バス株式会社自動車事業部業務課	市民団体等	
18	堀田 啓子	川西市文化協会川西合唱連盟	市民団体等	
19	水口 充啓	川西市消防団長	市民団体等	
20	三井 ハルコ	NPO法人市民事務局かわにし副理事長	市民団体等	
21	横田 茂	能勢電鉄株式会社総務部長	市民団体等	
22	吉永 京子	川西市コミュニティ協議会連合会長	市民団体等	

川西市総合計画審議会（第4回）会議次第

日時：平成24年7月30日（月）

午後6時30分～

場所：川西市役所4階庁議室 他

1 開会

2 議事

(1) 基本構想原案に対する審議会意見一覧(案)について・・・・・・・・・・【資料1】

(2) 本日の進め方について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料2】

(3) 班別討議

(4) 全体討議

3 その他

4 閉会

審 議 経 過

会 長	<p>1. 開会</p> <p>時間が参りましたので、第4回川西市総合計画審議会を開始いたします。出席予定の方でまだ来られていない方が何人かおられるようですが、間もなくお越しになるものと思います。</p> <p>それでは、最初に委員の出席状況について、事務局より報告をお願いいたします。</p>
事務局	<p><出席状況></p> <p>それでは、本日の出席状況についてご報告いたします。</p> <p>委員 22名中、福田委員からご欠席の連絡をいただいております。また、上田委員、神田委員、土山委員は、現在のところお見えではありません。したがって、出席委員は現在 18名です。</p> <p>つきましては、会議開催要件である過半数の出席をいただいておりますので、本日の審議会は成立しておりますことをご報告申し上げます。</p>
会 長	<p>2. 議事</p> <p>(1) 基本構想原案に対する審議会意見一覧(案)について</p> <p>(2) 本日の進め方について</p> <p>ありがとうございました。本日の会議は成立をしているということですので、進めさせていただきます。</p> <p>それでは、さっそく、議事に入りたいと思います。</p> <p>前回まで、基本構想案について、いろいろとご意見をいただきました。これをどのように取りまとめるのかということで、審議会意見一覧としてまとめさせていただき、これを本日は委員の皆様方に改めてご審議いただくために用意しております。</p> <p>それでは、事務局より、「基本構想原案に対する審議会意見一覧」、それから「本日の進め方」について、まとめてご説明をお願いいたします。よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>(資料1、2の説明)</p>
会 長	<p>ありがとうございました。資料1として、今までいただいたご意見をまとめています。説明がありましたように、あくまでも仮置きで整理していますので、正確に皆様のご意見を反映できているか、また、ここで三つに分類されていますが、それぞれが妥当か否か、この後の班別討議の中でご検討いただければと思っています。</p> <p>そして、基本的に、それぞれの班ごとに結論を得ていただいたものを当審議会全体の意見として、最終的に取りまとめたいと考えています。したがって、</p>

委員	<p>ある意味では、これからの班別討議が我々の答申の中身を左右する大事な議論になるかと思っておりますので、本日は 90 分という長い時間を取っています。その点、よろしくご議論いただければと思っております。</p>
事務局	<p>ここまでのところで、進め方についてご意見や疑問点などございましたら、ご発言いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>◆ 一覧の「結果」欄について</p> <p>「結果」の欄は、一人ひとりが何か書くのでしょうか。</p> <p>皆さんが合意形成を図る中で、共通認識するという欄です。</p> <p>それぞれご自身のチェック欄と考えていただければと思います。記録は事務局の方で取っていただきますので、後で突き合わせていただけるように記録していただければと思います。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（意見なし）</p> <p>本日は、班別討議に時間を取りたいので、あまりここで議論しても仕方がないと思います。さっそく班別討議に移りたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（異議なし）</p> <p>ありがとうございます。それでは、質疑は以上とさせていただき、先程、ご説明のような形で班別討議に移りたいと思います。班分け等がありますので、一旦、事務局の方で整理をお願いいたします。</p>
事務局	<p>（ 3 ）班別討議 （班分け等の指示） （各班に分かれて討議）</p>
会長	<p>（ 4 ）全体討議</p> <p>それでは再開したいと思います。班ごとにご検討をいただきましたので、それぞれの班の議論の結論をご紹介いただければと思います。それでは、1 班からご報告をお願いいたします。</p>
委員	<p>< 1 班発表 ></p> <p>資料 1 の の付いた内容を逐一取り上げて精査しました。</p> <p>◆ 通し番号 4</p> <p>通し番号 4 については、4 次総計の実績の積み重ねの上に第 5 次総計があるということで、4 次総計にも少し触れて、5 次へ繋いでいくという文言を加え</p>

るということですので、これはそのまま審議会意見候補になりました。

◆ 通し番号 5、6

5、6についてはこのままです。

◆ 通し番号 7、8、9、12、13、14、15

個人的意見のままですが、当然、個人的意見も計画等々にいろいろな面で反映させていただきたいと思います。

◆ 通し番号 21

P7の人口動態の実績値のグラフについては、社会動態が一旦マイナスになって、また増え、平成22年に再びマイナスになっているので、その原因を調べていただいて、原因がわかれば、それを記述に含めていただきたいということで、「保留」が「審議会意見候補」となりました。

自然動態は幅が段々と狭くなっていますが、これと人口動態は意味が違うので、文章を分けた方がよいという意見が出ました。これは調べていただいた結果で記述の内容が変わるので、事務局の方をお願いします。

◆ 通し番号 25

25は「水と緑の豊かな自然」の中で、特に生物多様性は、ヒメホタル等々も含めて川西の一つのアピールポイントになるだろうと考えて、文言の中に「生物多様性」を入れてほしいということですので、これも「審議会意見候補」になりました。

◆ 通し番号 29

「古の浪漫と文化の彩」については、上2段の文章が歴史に関する文章で、最後の段落が文化についてですが、文化は川西市のアイデンティティでもあるし、外部にもアピールするものなので、歴史と文化を分けて2本立てにさせていただきたいというのが審議会の意見です。

特に、みつなかホールは国際的な超一流の方が来られるということでアピール度が高いので、そういうことも含めた文章にさせていただきたいと思います。現在の文化活動のポテンシャルをここに記述してほしいという趣旨です。

◆ 通し番号 58

58は、「保留」になっていましたが、「個人的意見」にしました。「民度」というのが明確ではないという意見もありましたが、一般的にも使われているので「民度」でよいと思いますが、ここは入れることもないのではないかとということで「個人的意見」となりました。

◆ 通し番号 59

59は、「審議会意見候補」として取り上げたいと思います。「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」という分類の繋がりが見えにくいので説明がほしいということです。

◆ 通し番号 60、61

60、61については、P21の図とP22の文章が整合しているかどうか、統計的に精査していただきたいということで「審議会意見候補」としてこのまま残しました。特に、統計学的には一つの項目をたくさんのアンケート項目で説明

しようとする、つまり変数が増えるほど相対的な差異が小さくなりますので、その辺りも含めてチェックをお願いしたいと思います。P22 の年代別の分析は後につながりますので、それについての意見も出ており、また、後で触れます。

◆ 通し番号 84

84 で P29 の図では、ライフシーンごとのライフテーマが四つ挙げられていますが、「時間軸を盛り込めないか」という意見がありました。図にするとうなるのかわからないというのが皆さんの意見でした。

ライフステージによって変わりますし、特に、P22 にあるように年代層によって主眼点が変わるとい分析もありますので、そういうものを活かしながら、図にできるか、あるいは文章で表現するかは検討していただかなければなりません。ライフステージを意識して記述していただきたいという意見です。

P29 の図が変わるか、P31 以降の文章の中にライフステージに対応したものを盛り込むかというのは、事務局にお任せしたいと思いますが、いずれにしてもライフステージを取り上げてほしいということです。

◆ 通し番号 95

95 は「参画と協働」についてで、P30 の図は見やすく描かれていますが、協働をどのように定義するかということも説明が要るのではないかという意見が出ました。参画と協働のまちづくり推進条例もありますので、その中の文章か、あるいは、それをもう少しわかりやすく言い直したものを図の下にコラム的にも書いていただきたいということで、これは「保留」から「審議会意見候補」に変更しています。

◆ 通し番号 104～106

104～106 は「個人的意見」ですが、すべて「審議会意見候補」にさせていただきたいと思います。

104 は P33 の 3 の「生きがいの方向性」の説明の文章の中に、子どもたちが川西市から出て行かないようにすることはできないので、成長した後、「川西に帰って来たくくなるような」というような文言を入れて、家を建てる時は川西市に帰ることを意識してほしいという趣旨の言葉を入れてほしいという意見が出ました。

105、106 は同じ内容ですが、いじめ問題は重要な問題なので、是非入れたいという意見が皆さんから出ました。入れる場所は議論があって確定していませんが、命に関わる問題なので、政策 7「学ぶ」か、政策 8「尊ぶ」か、何らかの形で触れておきたいという意見がありました。

以上が確認しなければならないところで、それ以外は「個人的意見」のままです。本日の議論の結果だけを申し上げましたが、補足があればお願いします。

(補足なし)

会 長

それでは、1 班の報告は以上とさせていただいて、2 班のご報告をお願いいたします。

委員

<2 班発表>

報告させていただきますが、いろいろと変更した箇所が多く、皆様が書き取りしていただくのを待ちながらお話していると時間がかかると思いますので、書き取り難い方はどの番号が変わるかというくらいのイメージでチェックしていただいて、後日、事務局の成案の方で確認していただければと思います。

◆ 通し番号 1

まず、1 は、「この後につながる戦略として、子育て世代(30~40代)の定住という話になったが、その戦略的なものを計画の中でも明確にした方がよい」という言い方にして、1 番の意見を拡充し、審議会意見候補としています。

◆ 通し番号 2、3

2、3 は、1 で拡充したところに抱合されるということで、そのままとしています。

◆ 通し番号 10、11

10 は、書かれている文章の後に「～『多様な主体が担うまちづくり』とすべき。その上で行政が行うべきこと、市民の主体性に期待されることを明確にして表現すべき」という意見が出ました。文章は成案に任せたいと思いますが、要するに、多様な主体が担うまちづくりで、いずれがどのような主体であるのかということをも明記すべきという意見でした。

それを踏まえて、11 の意見は「保留」になっていますが、「個人的意見」としていただきたいと思います。

◆ 通し番号 16

16 は「実行性」という言葉が 2 回出ていますが、誤字で、「実効性」という字にさせていただいて、「これまでと違う書き振りをすべき」というところを、「あくまでも実効性が見えるような明確な記述とすべき」としました。

また、計画の全体像が見える、他の行政計画とのつながりが見えるということをも具体的な事例として挙げながら、実効性のある計画として書いていくことが「審議会意見候補」として扱われています。

◆ 通し番号 19、20

19、20 はどちらも「審議会意見候補」としました。それに当たって少し補足していますが、19 の最初の段落を割愛して、ここを「川西市の特色、地理的、歴史的な特性、例えば」の後に第 2 段落をそのまま入れています。

今は、概況ということで全体的な地理的なものを書いています。まちづくりとして見た時に、その地形がどのような意味を持っているかということを書いてほしいと思います。

具体的には、南北に長くて、地域特性の違いがあるということと、20 は、兵庫県、または大阪圏の中での川西市の位置づけをもう少し書いていただきたいということで、これらは「審議会意見候補」となりました。ただし、概要の範囲でということだったと思います。

◆ 通し番号 22、23、24

22、23、24 は分類が「保留」となっていますが、後段でこの意見が活かせる場所があると考えました。

P7 は具体的な状況について書かれていますが、22、23、24 の意見は、どちらもまちづくりの課題として、まちがどのように方向になるかというデータが欲しいというものだったので、それはまちづくりの課題を扱うページでの提案だと判断し、別のところで活かされる意見としました。「個人的意見」にするのか、すべて取ってしまうかは決めていませんが、「個人的意見」としてここで話されたけれども、その結果は「審議会意見候補」として後段で活かされると覚えておいていただければよいと思います。

◆ **通し番号 34、37**

34 は一旦、そのままにさせていただいて、37 を「まちづくりや施策につながる地域資源の書き込みを充実させてほしい」として、「個人的意見」から 2 班全体の意見として「審議会意見候補」に挙げていただければと思っています。

実は、34 は 37 と同じ趣旨を含んでおり、まちづくりに活かされるので、地域資源をもっときちんと書いてほしいという文脈で 34 が発言されていたということも捕捉させていただきます。したがって、34 は 37 が「審議会意見候補」となりましたので、趣旨は包含したということで、「個人的意見等」のままにしています。

◆ **通し番号 35**

35 は、記載箇所が P10「活発な市民活動」になっていますが、「活発で多様な市民活動」としたいという意見がありました。具体的には、地域コミュニティの活動が入っていますが、NPO やボランティア等、志縁的なつながりの活動についての言及がないということで議論しました。文章については「～ボランティア活動の活発化など、多様な市民活動の広がりについても言及すべき」として、「審議会意見候補」として挙げたいというのが 2 班の議論でした。

◆ **通し番号 38**

38 は、文章を修正して、「全国的な立ち位置で書かれているが、その中でも川西市としてどうするかというスタンスを明確にした書き振りにした方がよい」と直したいと思います。

◆ **通し番号 52、53**

52 は、P14 の分類表の点が中央に集まって見づらいということなので、どうわかりやすくできるかということが問題になりました。スケールが 1.00～3.50 まで縦に並んでいますので、空白部分を取ってしまうと、中心部分が拡大されて広がりますが、データとしてそのような表現にしてよいのかどうかかわからないということで、「スケールを調整することではどうか」という投げ掛けにしたいと思います。

53 は、52 に対立する意見ですが、これは「個人的意見」として、大方の委員の意見は 52 の方としていただきたいと思います。

◆ **通し番号 55**

先の 22、23、24 を後段で活かすと述べたのはこの 55 のところで、文章表現

が大きく変わります。「個人的意見等」を「審議会意見候補」にいただき、その趣旨を「人口動態や推計を充実させてほしい。単身者世帯の動向、昼夜間人口の動向、また推計シナリオも複数パターンがあり得るのではないか」と表現し、まちのあり方が、まちの住んでいる人の形がどうなるかということの想定をもう少し充実させてほしいということです。こちらの方を2班の意見として挙げたいと思います。

◆ **通し番号 77**

77は「個人的意見等」を「審議会意見候補」にいただきたいのですが、この点はマスタープランのところで議論していることは理解しておりますので、今の文章の前に「マスタープランでの議論に委ねるが」を付けて、文章を続け、「～そうした将来の影響を考慮すべきではないか」としていただいて、2班全体としてはこのように思っていることをマスタープランの委員会に投げ掛けて、ご検討いただきたいという旨を申し送りさせていただきます。

◆ **通し番号 87**

87の結びの「言い尽くせない」は断言まではいかないということで、「言い尽くせないのではないか」にしたいと思います。

◆ **通し番号 91**

91は最後の「ので、区別すべき」を削除して、主語が混在しているという指摘だけとして、「審議会意見候補」を「個人的意見等」にいただきたいと思いをします。

◆ **追加**

ここで、議論していたのに出ていない項目がありましたので、議論して再現しました。

その結果、P29に「市民総参画型」という言葉がありますが、「『総』」とよいか、言葉だけに終わらないか、市民の側の主体性や担い手は見えるか、体制は取れているか、覚悟はあるかということを見ると『総』という表現は行き過ぎではないか」という意見がありました。これは2班全体の意見として、「審議会意見候補」ということでご検討いただきたいと思いをします。

◆ **追加**

もう一点、P30について「審議会意見候補」として挙げていただきたいのが、「川西市が考える協働の姿や協働のまちづくりについての発信や周知や実践を進めていくことが大事だということについて言及がない」という内容で、是非入れて欲しいと思いをします。

また、「この図自体がわかりにくいので、もう少しシンプルでよく伝わるものがよいのではないか」というご意見がありましたが、これは「個人的意見等」とさせていただきます。

いずれにしても、文章や図として提案できるようにしたいというのが2班の意見として出ていたことを補足したいと思いをします。

◆ **通し番号 100**

100について、「『安全』は一定の指標があり」というのはいくつかの意見が

合わせられていましたので、ここを取って、「保留」から「審議会意見候補」としていただきたいと思いますが、その趣旨は「安全・安心に関しては、パトロールなどすでに行われている連携について書かれていない」ということです。

◆ 通し番号 101

101 は 100 で反映されている部分もありますので、「個人的意見等」としていただきます。

◆ 通し番号 103

103 は文意が伝わらないところがあり、「それを支えることが行政の役割である」となっていますが、行政の役割は支援であるということで、どちらが主でどちらが客かを明確にしようという意見がありました。

◆ 通し番号 107

107 は、「これまでの総合計画とどう違うか、どういう思いで書いているかを明確にすべき」ということで、文章を少し変更しています。

◆ 通し番号 108

108 は、「ライフ・ロング・ラーニングや地元学とも言われるように～」として「実際には市民講座等も行われているし、」を削除し、「まちで学ぶ、まちづくりを通じて、多世代で育み合う活動も書かれるべき」という文章表現に変えています。

◆ 通し番号 117

117 は、「表現上の問題だが、『ひとりぼっちにしない』という表現は突然個別政策につながるようで違和感がある」として、「個人的意見等」ではなく、「審議会意見候補」としたいと思います。

◆ 通し番号 118

118 は文意をわかりやすくするために「いろいろなことを盛り込むのではなく」を削除し、「行政がすべきこと、あるいは、全体が縮小して行政のできないことが増えていく部分があるので、それを踏まえ、どのように運営していくかということをお大綱で議論していただきたい」という意見で、「審議会意見候補」としました。

また、行革プランのところで検討されていることですので、先程のマスタープランと同様に申し送りをしていただきたいという趣旨の意見です。

会 長

ありがとうございました。2 班に参加された委員の皆様の中で、今のご報告に補足することがあれば、お願いいたします。

◆ 108 に関する補足

委 員

意を酌んで発言していただいて大変満足しています。108 で「多世代」と言及いただきましたが、「共に育み合う」という表現でお願いしたいと思います。キーワードとしては、教育は「共育」という意識を持って「共に育み合う」というようにしていただければと思います。

委員	<p>◆ 子育てに関する意見</p> <p>それに関連して、2 班では、市政の方向性として子育て世代や子育てを重要視するべきだということで、最初のところで言及していたのですが、それに関連する意見がいろいろと出ていました。そのため、「個人的意見」になっているところもありますが、意見が多かったということに補足したいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。よろしいでしょうか</p> <p>(その他、補足なし)</p>
会長	<p><質疑応答・意見交換></p> <p>それでは、1 班、2 班それぞれの検討を進めていただきましたが、ここまでのところでご質問やご意見がございましたら、発言をお願いしたいと思います。</p> <p>(質問等なし)</p>
会長	<p><答申のまとめ方について></p> <p>議論はこれで終わりということではなく、今後の取りまとめ方も含めて、また改めてご議論いただく機会は持ちたいと思っています。</p> <p>今、1 班、2 班からそれぞれ本日までご議論いただいた結論をいただきました。まだ、最終的に直したいところもあるかもしれませんが、まずはそれぞれの班で「審議会意見」としていただいたもの、個別の意見としていただいたものの大きく 2 種類に分けられました。</p> <p>そこで、今後、当審議会の基本構想に対する意見として答申する取りまとめに当たりましては、本日、二つの班からいただいた「審議会意見」に当たる部分を当審議会の意見として取りまとめたいと思っています。</p> <p>また、併せて「個人的意見」という言い方もありますが、個別の意見とされたものについては、参考意見として、「当審議会に他にこのような意見もありました」ということをすべて網羅する形で答申を作りたいと思っています。</p> <p>これを基本にして、次々回頃までには、その案を皆様方にご提示させていただきたいと思っています。</p> <p>そして、それを我々の最終の答申として、もう一度ご意見をいただいて、第 8 回頃には答申に漕ぎ着けたいと思っています。</p> <p>その際、案として作成する中で、本日いただいたご意見、それぞれでまとめていただいたものを最大限尊重させていただきたいと思っていますが、実は、1 班と 2 班で重なっているところがあります。また、文章表現として答申文に載せるのに適切な表現かどうかについては、少し検討させていただきたいところもあります。したがって、予め私の方で事務局と相談をして、そういう若干の文言の修正をさせていただきたいと思っています。それをご了解いただいた上で、この答申案の作成に入りたいと思っています。</p>

繰り返しになりますが、我々の答申としては、本日、1 班、2 班から基本構想についていただいたご意見を、できるだけそのまま記述する形でまとめたいと思っています。そのような方針でいかがでしょうか。

(異議なし)

以上、当面の作業の進め方についてのご提案をさせていただきましたが、この点について、お考えをお伺いしたいと思います。ご意見、ご質問をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

(意見なし)

まとめたものを見ていただいて、それからご意見をいただく方がイメージしやすいと思いますので、一旦は、今申しました方向でまとめさせていただきます。また、過不足や反対意見等がございましたら、やり直すことになりますが、できるだけ手戻りがないように各委員の皆様方から出された意見を尊重して、我々の答申案にしたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の審議については以上とさせていただきます。

その他、委員の方々からご意見、あるいはご要望等がございましたら、いただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<データの選択について>

P19 の「川西市民の『幸せ』の実感と意識」のところで、下の図に 12 項目について、国の「国民生活選好度調査」と川西市の「川西市市民実感調査」を並べて書かれていますが、よく見ますと、全体で何項目あったのかわからないので、どのような選択肢で上位 12 項目を選択されたのかが気になります。

要するに、国の方はたくさんの項目の中でトップの項目に対する集中度が低いということ、「重視する事項の回答率が高め」というところでまとめられていますが、二つの分散の状態が違うものを並べて比較されていますので、大まかには間違いではないと思いますが、基本構想の中に図として、この二つのことを説明するのに不十分ではないかという気がしました。文章については異論ありませんが、使うデータを慎重に選ばれた方がよいのではないかと思いますので、付け加えさせていただきます。

ありがとうございました。特に、データ部分については、両班から個別にご意見がありましたので、データベース、バックデータ等々との関わり等を含めて、もう一度、実際の構想の文言の中で、あるいは、構想を作る際の最終版の注釈の入れ方等も含めて、ご留意いただければと思います。

また、不適切な扱い方がされているもの、比較してはならないものが比較されているということになると問題ですので、この辺りはもう一度精査していた

委員

会長

	<p>できればと思います。それについては、我々はわかりませんので、よろしくお願いいいたします。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(その他、意見なし)</p> <p>それでは、本日、ご審議いただく分については以上とさせていただきます。</p>
会 長	<p>3 . その他</p> <p>その他の項目について、次回以降の予定もあろうかと思しますので、事務局からお願いいいたします。</p>
事務局	<p>◆ 次回の日程について</p> <p>事務局より、大きくは2点、お伝えしたいと思います。</p> <p>本日は、基本構想第1部、第2部で皆様からいただきましたご意見について整理をさせていただきました。長時間、ありがとうございました。今後、さらに整理をさせていただき、答申案の作成に向けた作業を進めたいと考えております。</p> <p>なお、答申案につきましては、9月7日の第7回審議会にて、皆様に議論していただく予定ですので、よろしくお願いいいたします。</p> <p>また、次回8月9日は基本計画第1部「暮らし・安全安心」の討議を予定しています。本来であれば、次回ご議論いただく資料をこの場でお持ち帰りいただくべきところですが、現在、基本計画原案の取りまとめ作業を行っているところですので、準備が整い次第、皆様へ事前送付させていただきたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいいたします。</p>
事務局	<p>◆ 勉強会について</p> <p>次に、7月19日(木)に実施いたしました勉強会につきまして、ご報告させていただきます、委員の皆様と協議を図りたいと考えています。</p> <p style="text-align: center;">(以下、勉強会の報告)</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p>
委 員	<p>◆ 今後の予定について</p> <p>そういうことを含めて、今決まっている予定をもう一度確認していただきたいのですが。</p>
会 長	<p>それでは、事務局は今後の予定をもう一度お願いします。次回は8月9日と記憶しています。</p>

事務局	<p>今後の日程については、第5回が8月9日(木)、第6回が8月24日(金)、第7回が9月7日(金)、第8回最終回が9月13日(木)という予定になっています。場所についてはこちらの庁議室となっています。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。特に、第5回と第6回は、今、事務局ベースで作成していただいています基本計画の個別の計画内容に入りますが、そちらについて委員の皆様方に是非ご意見をいただきたいと考えています。これは我々の答申の対象ではありませんが、各委員の関心が深いところだろうと思いますので、ご意見をしっかりといただきたいと思います。多岐にわたりますので、2回にわたってご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>それから、できれば8月24日の段階までに、本審議会の基本構想に対する、先程いただきましたご意見を取りまとめた案のようなものをご提示できればと思っております。その後、盆も入りますので、日数的に難しいかと思いつつも、何とかこの日で答申ができるところまで漕ぎ着けられればと思っておりますので、そういう心づもりでいるということをお頭の片隅に置いておいていただければと思います。</p> <p>このような進め方を考えていますが、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p> <p>それでは、いろいろとご意見をいただいて参りましたが、特に、ご意見等、ございませんようでしたら、本日の議事については以上とさせていただきます。一旦、事務局にマイクをお返ししますので、よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>4. 閉会</p> <p>委員の皆様、長時間にわたりまして、ありがとうございました。本日の会議はこれで終了したいと思います。</p> <p>本日は、どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>